

「マグネシウム合金研究会」

< 研究事業のテーマ >

- ・平成 14 年度につづいて、採択された。
- ・昨年度は、マグネシウム合金の需要動向を把握するとともに、その優れた特性の理解を深め、参加企業のうち 3 社と大手スポーツ器具メーカーで共同開発してきたマグネシウム合金製のゴルフヘッド完成に結び付いた。
- ・今年度は、シリコン + マグネシウム = 新しいマグネシウム合金の特性を調査研究し、併せて市場の需要調査のため、アンケートとヒアリング双方の調査を実施する。

< 成果 >

- ・座長の東京大学先端科学技術センター 近藤勝義氏がシリコンを含む、新たなマグネシウム合金 (MgSiX) の製造方法を世界で初めて開発し、ピレットおよびボルトの試作品製造に成功した。
(マグネシウム粉末とシリコン粉末を混ぜ合わせて成形固化→ピレット作成)
(ピレットを押出加工→ボルト作成)
- ・平成 15 年 9 月、県内機械金属関連企業 198 社に対し、マグネシウム合金利用に係るアンケート調査を実施した。

< 研究会開催 >

研究会を計 4 回開催した。

- ・第 1 回研究会 (平成 15 年 7 月 28 日)
テーマ 1 . 今年度の研究会の進め方について
(調査研究方法、スケジュール、役割分担)
2 . 材料について (供給体制の確認)
3 . 市場調査のアンケートについて (7 月中に 200 社に発送)
- ・第 2 回研究会 (平成 15 年 12 月 12 日)
テーマ 1 . これまでの研究の進捗状況・今後の研究の進め方について
2 . アンケート調査結果 (今後 14 社に対してヒアリング実施)
- ・第 3 回研究会 (平成 16 年 2 月 9 日)
テーマ 1 . これまでの研究の進捗状況について

２．来年度の活動方針について（経産省の地域新生コンソーシアムの申請予定）

・第４回研究会（平成 16 年 3 月 24 日）

テーマ １．ヒアリング調査について（6 社実施分についての報告）

２．地域新生コンソーシアムへの申請について

（一般枠 1 億円と中小企業枠 3 千万円の両方に応募）